

ハンドボール

No. 15

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	た
----------	---

年月日	2018年9月16日(日)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公式記録用紙

A	埼玉県										愛知県										B
都道府県 福井県		市町村 福井市				会場 福井県営体育館										回戦 決勝					
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC	A	B							
	12	8		24	22																
7mT得点/総数	A		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B		7mT得点/総数							
	0/0		1	2	後3				1	2	3	2/2									
			29:04	24:09	29:39				12:03												

No.	埼玉県	G	W	2'	2"	D	DR	No.	愛知県	G	W	2'	2"	D	DR
1	東 佑三							1	岡本 大亮						
2	柴山 裕貴博	1						2	笠原 謙哉						
3	小澤 広太	3						3	渡部 仁	6					
4	植垣 健人	2	1					4	内海 祐輔						
5	元木 博紀	6		1				5	菅野 純平			1			
6	信太 弘樹	5	1					6	玉城 慶也						
7	宮崎 大輔	1						7	藤本 純季	4					
8	東長濱 秀希	3		1	1			8	吉野 樹	7	1	1			
9	森 淳	1						9	岡元 竜生	3		1			
10	小室 大地	1	1					10	木切倉 真一	1					
11	玉川 裕康	1						11	津屋 大将	1					
12	木村 昌丈							12	加藤 芳規						
役員A	岩本 真典							役員A	香川 将之						
役員B	佐藤 良彦							役員B	松村 昌幸						
役員C	近藤 恒俊							役員C	高橋 豊樹						
役員D	村田 博明							役員D	山本 充何						

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	佐々木 皇介	馬場 智也		
T.D	古矢 勲	竹野 誠司		
JHAオフィシャル	高野 修			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

No. 14

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9/ 13日(木)・14(金)・15(土)・ 16(日) ・17(月)			試合番号	た
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦	三回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
埼玉県			愛知県		
得点合計	小計		小計		得点合計
24	12	前半	8	22	
	12	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
	7mTG				

戦評

大会4日目第2試合、成年男子の決勝は昨年の国民体育大会決勝と同じ顔ぶれとなった。JHL加盟チームの大崎電気からなる埼玉県と、トヨタ車体からなる愛知県との対戦ということで、この両者の対決を楽しみに福井県営体育館には大勢の観客が詰め掛けた。埼玉県のスローオフからスタートした試合は、開始30秒で④植垣がゴールネットを揺らすと、すぐさま愛知県⑩吉野のミドルシュートで応酬。埼玉県⑥信太が華麗なフエントでDFを抜き去りシュートを決め会場から歓声が沸き起こると、負けじと⑩津屋もカットインシュートを決め食い下がる。開始8分、埼玉県⑤元木がサイドシュートを決め6対4とし、さらに速攻から埼玉県⑥元木が連取したところで、愛知県はタイムアウトを請求した。タイムアウト後反撃に転じた愛知県は⑩岡元がポストシュートを、ゴール左隅に沈めた。その後、両チーム守護神のファインセーブもあり、緊迫したゲーム展開が続いた。20分でOFIに投入された埼玉県⑦宮崎がゲームメイクし、⑤元木がGKの動きを見ながらの技ありサイドシュートを決め、さらに⑩玉川が速攻を決め11対7とする。愛知県も⑦藤本のサイドシュートでなんとか追い上げようとするが、埼玉県の⑩森⑩玉川の体格の良さを活かした堅い守備を崩すことはできず、12-8と埼玉県の優勢は変わらないまま、前半終了を迎えた。

後半開始直後、愛知県⑩吉野がフエントシュートを決めたが、すかさず埼玉県⑥信太が速攻を決め流れを渡さない。愛知県左腕③渡部が3連取し、さらに⑦藤本のパスカットからの速攻も飛び出し14対13と1点差まで詰め寄ったが、埼玉県も左腕⑩東長濱の豪快なブラインドシュートや⑩信太のポストシュートやロングシュートで引き離そうとした。13分には愛知県⑩吉野がジャンプシュートを決め17対15と追いつくが、負けじと埼玉県も⑩東長濱や⑥信太の9mライン外からのロングシュートで逃げ切ろうとした。愛知県は③渡部のカットインシュートや⑩吉野のロングシュートで挽回を図るが、埼玉県⑥元木が華麗なステップワークからのシュートを決め23対19とする。24分に埼玉県がタイムアウトを取りゲームが再開した後、速いパス回しからシュートチャンスをうかがう埼玉県のボールを、愛知県⑩岡元が巧みにパスカットし速攻を決める。愛知県⑩吉野が7mTを確実に決め2点差に詰め寄り、さらに③渡部のカットインシュートで1点差にすると、埼玉県は残り21秒でタイムアウトを請求した。最後まで⑦宮崎を中心に攻撃の手を緩めなかった埼玉県が最終スコア24-22で昨年に引き続き優勝を勝ち取った。

記載者氏名	堀部 昌宏
送信日時	月 日 () :
送信者署名	